

三木市地域公共交通網形成計画素案（概要版）

1 計画策定の目的

地域の基幹交通の維持と公共交通ネットワークの構築により、公共交通を中心としたまちづくりを推進するため本計画を策定。

2 計画対象区域

三木市全域

3 計画対象期間

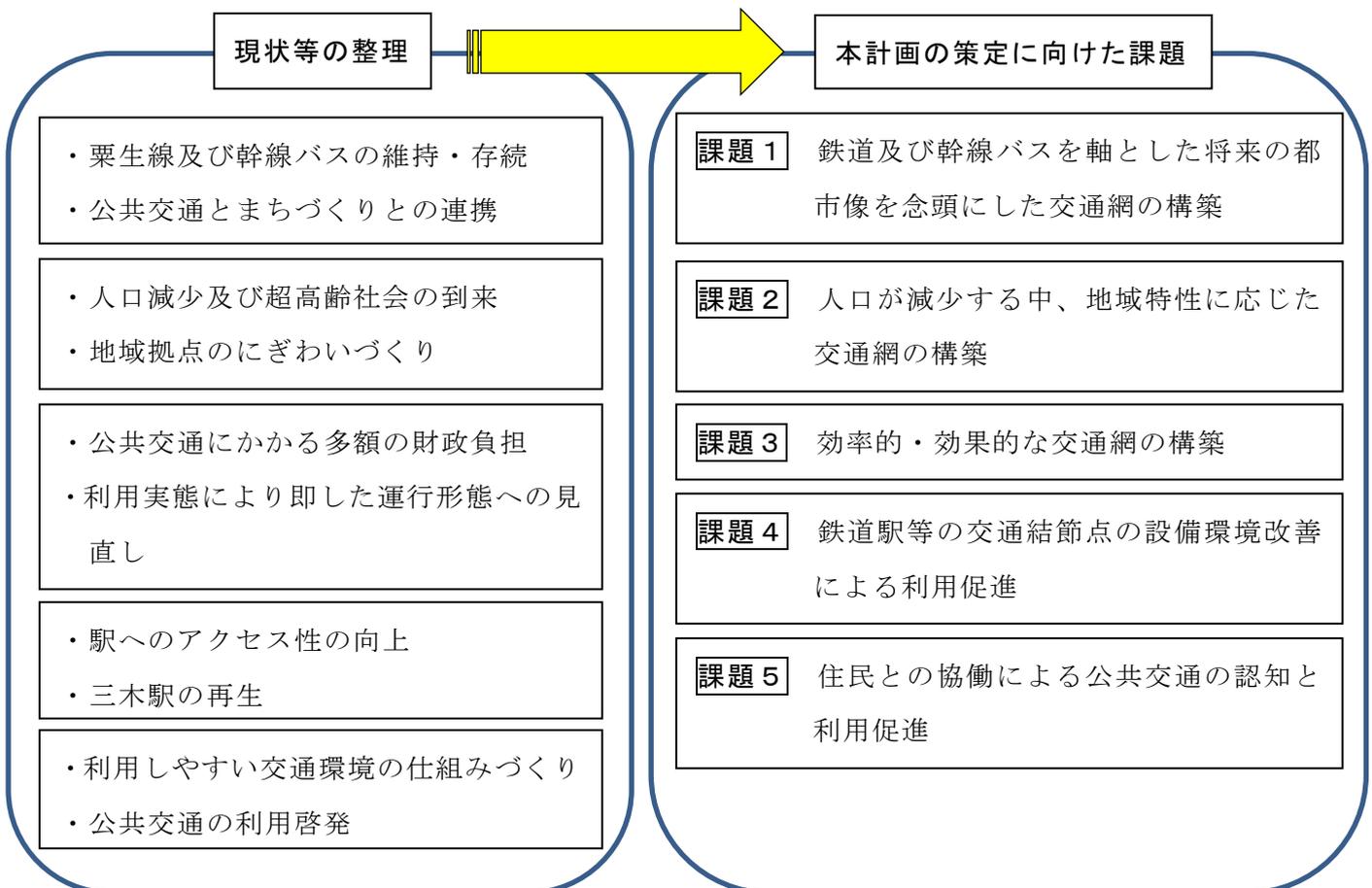
平成31年度～平成35年度（5年間）

4 三木市の公共交通の課題

本計画の策定に当たり、人口及び高齢化の推移並びに公共交通の利用実態の把握、市等が策定しているまちづくり等の関連計画の調査、第4次三木市公共交通網計画における取組効果の検証を実施。

また、公共交通の新たな選択肢として、デマンド型交通の導入検討に向けた協議を実施。

その結果を踏まえ、公共交通を取り巻く課題を次のとおり整理。



5 計画の目標及び基本方針

4で整理した課題のほか、市等の関連計画の理念・方針を踏まえ、本計画における目標及び基本方針を次のとおり策定。

基本的な考え方

- ① 高齢化の進行、人口減少及び財政的制約などの厳しい環境が今後も続く中で、公共交通の維持・活性化にはこれまでにない新たな取組が必要
- ② 将来にわたってあらゆる世代が住み続けたいくなるまちとするためには、誰もが気軽に移動できる環境づくりが必要
- ③ 公共交通の維持・活性化には、市民等、交通事業者及び行政の協働による取組が不可欠

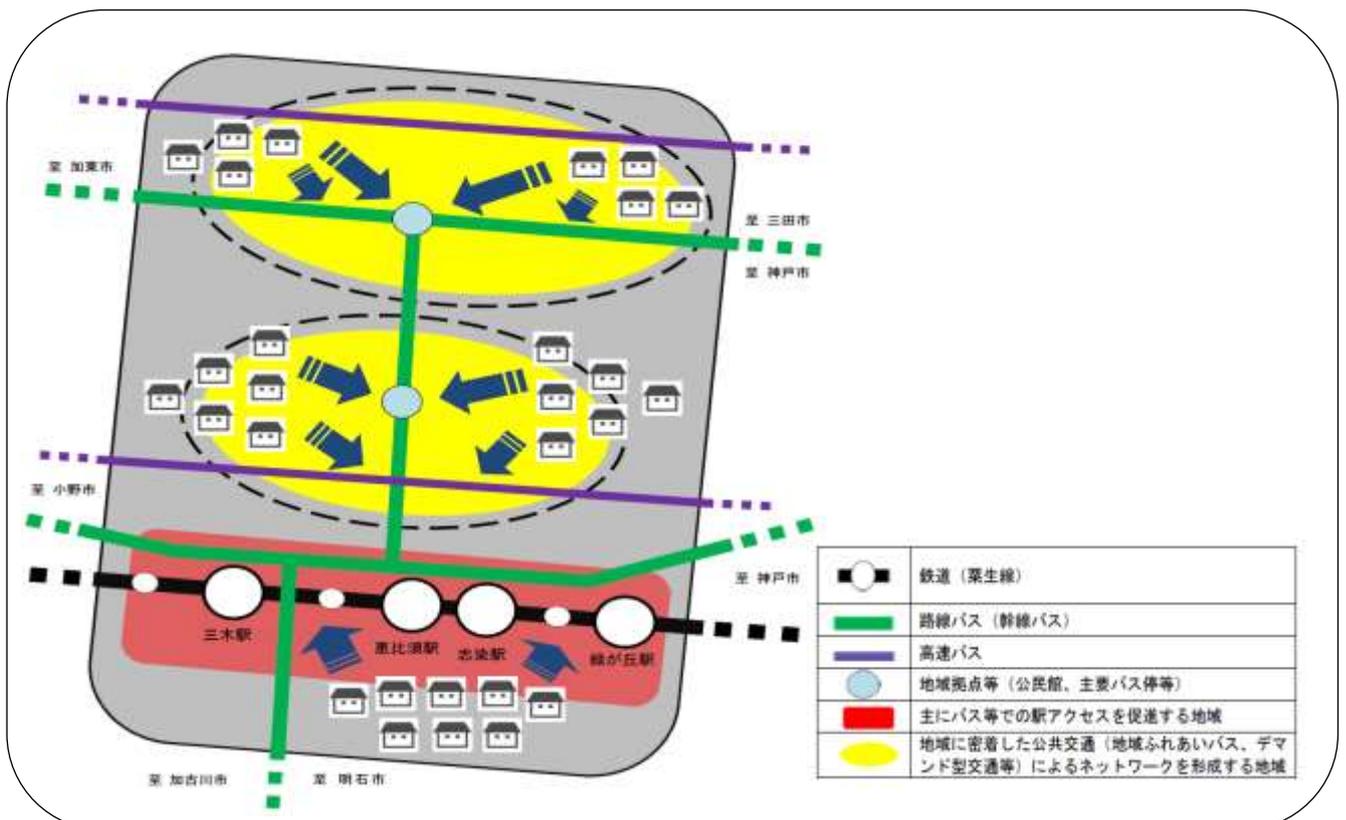
目標

住み続けたいくなるまちづくりを目指し、次世代につなぐ
新たな公共交通網をつくります

基本方針

- 方針1 鉄道及び幹線バスを軸とする公共交通網の形成
 方針2 まちづくりと連携した便利な公共交通網の形成
 方針3 公共交通の活性化及び利用促進

三木市が目指す新たな公共交通網のイメージ



6 主な施策及び事業

本計画の目標及び基本方針を達成するため、次の事業を実施。

また、基本方針に基づき、市内10地域においても具体的な取組を展開（※今後詳細を検討予定）

基本方針1 鉄道及び幹線バスを軸とする公共交通網の形成

- ① 粟生線の維持・存続に向けた活性化及び利用促進
- ② 持続可能なバス路線網の形成

基本方針2 まちづくりと連携した便利な公共交通網の形成

- ① 交通と「まちづくり」との協調・連携
- ② 交通と「福祉」との協調・連携
- ③ 交通と「教育」との協調・連携
- ④ 交通と「観光」との協調・連携

基本方針3 公共交通の活性化及び利用促進

- ① 市民に対するモビリティ・マネジメントの実施
- ② 企業等に対するモビリティ・マネジメントの実施
- ③ 市民等、交通事業者、行政の協働による公共交通の利用促進

7 数値目標の設定

本計画における数値目標を次のとおり設定。

基本方針	指標	基準値	目標値
方針1 鉄道及び幹線バスを軸とする公共交通網の形成	①	今後、方針1に関する指標等を設定予定	
	②	今後、方針1に関する指標等を設定予定	
方針2 まちづくりと連携した便利な公共交通網の形成	③	今後、方針2に関する指標等を設定予定	
	④	今後、方針2に関する指標等を設定予定	
方針3 公共交通の活性化及び利用促進	⑤	今後、方針3に関する指標等を設定予定	
	⑥	今後、方針3に関する指標等を設定予定	

8 推進体制及び役割分担

本計画を確実に推進していくため、市民等、交通事業者及び行政がそれぞれの役割を分担しながら、その役割を果たしていくことが重要。

また、Plan（計画）、Do（実施）、Check（検証・評価）、Action（改善）のPDCAサイクルに基づき、事業が適切に実施されているかを検証し、事業の計画・検討・見直しを行いながら、各事業を推進。

計画の推進体制

